



OASE Operation Autonomy Support Engine

クイックスタート

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

第1.1版

Exastro developer

目次

1. はじめに
 - 1.1 ログイン画面
 - 1.2 画面説明（Dashboard画面）
 - 1.3 画面説明（アクション設定画面）
 - 1.4 画面説明（ディシジョンテーブル画面）
 - 1.5 画面説明（リール画面）
 - 1.6 画面説明（リクエスト履歴画面）
 - 1.7 画面説明（アクション履歴画面）
2. シナリオ説明
 - 2.1 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ
3. 実行前準備
 - 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(1/3)
 - 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(2/3)
 - 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(3/3)
 - 3.2 ディシジョンテーブルの作成
 - 3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(1/2)
 - 3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(2/2)
 - 3.4 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
 - 3.5 テストリクエスト(1/2)
 - 3.5 テストリクエスト(2/2)
 - 3.6 プロダクション適用
4. 実行操作
 - 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(1/2)
 - 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(2/2)
 - 4.2 アクション実行結果の確認
- A 付録
 - サンプル1 (1/3)
 - サンプル1 (2/3)
 - サンプル1 (3/3)

1. はじめに



1.1 画面説明（ログイン画面）

OASEログイン

- 以下のURLへアクセスすると、ログイン画面が表示される。

https://exastro-oase/oase_web/top/login



POINT

OASE導入は
<[環境構築マニュアル -基本編-](#)>
および
<[OASE Learn-導入編-](#)>
を参照してください。

POINT

初回ログイン時は、ログイン直後に
パスワード変更を求められます。

1.2 画面説明 (Dashboard画面)

■ 基本的なメニューの概要は以下の通り
(ログイン画面 > DashBoard)

DashBoard

OASEにようこそ！

Exastro Operation Autonomy Support Engine

システム管理者 でログインしています。

個人設定 お問い合わせ ログアウト

ルール

システム

管理

メニュー

■メニューの概要

- ・ **ルール** : ルール作成やアクション結果を管理
- ・ **システム** : OASE全般や各種設定・権限を管理
- ・ **管理** : セキュリティ関連を管理

POINT

各メニューの機能詳細は
マニュアルを参照してください。

1.3 画面説明（アクション設定画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用
(DashBoard > システム > アクション設定 > mail Driver ver1)

The screenshot shows the 'Action Setting' screen under the 'mail Driver ver1' tab. The interface includes a header with 'Dashboard', 'Rules', 'System' (selected), and 'Management'. A sub-header 'Action Setting' is shown above the table. The table lists four entries: 'oasetest', 'oasetest_A', 'oasetest_B', and 'oasetest_C', each with columns for operation, name, protocol, SMTP server, port, user name, last updater, and last update date. A red box labeled ① highlights the 'mail Driver ver1' tab. A red box labeled ② highlights the table body. A red box labeled ③ highlights the 'Add Action Target' button. A red box labeled ④ highlights the 'Create Mail Template' button.

操作	名前	プロトコル	smtpサーバ	ポート	ユーザ名	最終更新者	最終更新日時
[Edit]	oasetest	smtp	0.0.0.0	25	sample@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:11
[Edit]	oasetest_A	smtp	0.0.0.0	25	sampleA@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:47
[Edit]	oasetest_B	smtp	0.0.0.0	25	sampleB@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46
[Edit]	oasetest_C	smtp	0.0.0.0	25	sampleC@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46

■機能説明

- ① OASEにインストール済のドライバ名
- ② アクション先として登録されている情報
- ③ インストール済のドライバに
アクション先の情報を追加するボタン
- ④ メールテンプレートを作成するボタン

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.4 画面説明（ディシジョンテーブル画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用
(DashBoard > ルール > ディシジョンテーブル)

操作	ルール種別	最終更新者	最終更新日時
	ルール種別001	システム管理者	2020年 04月 06日 13:56
	ルール種別002	システム管理者	2020年 04月 06日 13:56
	ルール種別003	システム管理者	2020年 04月 06日 13:57
	ルール種別004	システム管理者	2020年 04月 06日 13:57
	ルール種別005	システム管理者	2020年 04月 06日 13:58

■機能説明

- ① OASEに登録済のディシジョンテーブル
- ② ディシジョンテーブルファイルのダウンロードボタン
- ③ 新規追加画面に遷移し、ディシジョンテーブルを作成するボタン

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.5 画面説明（ルール画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用 (DashBoard > ルール > ルール > ステージング適用ルール)

- ディシジョンテーブルファイルをステージング環境にアップロードし、テストリクエストを実施の結果、運用可能なルールであると検証が完了した場合、適用ボタンが有効になる。

操作	ルール種別	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	③ルール種別003	RuleTable003.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2020年 04月 08日 15:14
	ルール種別002	RuleTable002.xlsx	未適用	アップロード異常終了	システム管理者	2020年 04月 06日 16:29
	ルール種別001	RuleTable001.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2020年 04月 06日 14:32

■機能説明

- ① ディシジョンテーブルファイルを操作するボタン
- ② アップロードしたディシジョンテーブルファイルとそのステータスの一覧
- ③ ステージングからプロダクションへの適用ボタン

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.5 画面説明（ルール画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用
(DashBoard > ルール > ルール > プロダクション適用ルール)

The screenshot shows the 'Rule Management' interface with two main sections:

- Staging Application Rules (ステージング適用ルール):** This section displays three rows of rule data. The columns are: 操作 (Operation), ルール種別 (Rule Type), ルールファイル (Rule File), 運用ステータス (Deployment Status), 作業ステータス (Job Status), 最終更新者 (Last Updated By), and 最終更新日時 (Last Updated Date).

操作	ルール種別	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	ルール種別003	RuleTable003.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2020年04月08日 15:14
	ルール種別002	RuleTable002.xlsx	未適用	アップロード異常終了	システム管理者	2020年04月06日 16:29
	ルール種別001	RuleTable001.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2020年04月06日 14:32
- Production Application Rules (プロダクション適用ルール):** This section displays one row of rule data, highlighted with a red box and circled with a red number ①. The columns are: 操作 (Operation), ルール種別 (Rule Type), ルールファイル (Rule File), 適用ステータス (Production Status), 作業ステータス (Job Status), 最終更新者 (Last Updated By), and 最終更新日時 (Last Updated Date).

操作	ルール種別	ルールファイル	適用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	ルール種別001	RuleTable001.xlsx	プロダクション適用	プロダクション適用完了	システム管理者	2020年04月06日 14:33

■機能説明

- ① OASEにメッセージが飛んできたとき
実際に運用されることが決定したルールの一覧

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.6 画面説明（リクエスト履歴画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用
(DashBoard > ルール > リクエスト履歴)

The screenshot shows the 'Request History' page with a red box highlighting the first column of the table. The table has columns: Rule Match Status, Request Type, Rule Type, Request Received Date, Event Information, and ID.

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ルール種別	リクエスト受信日時	イベント情報	ID
✓	ステージング環境	ルール種別	2020年4月9日17:04	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	202
✓	プロダクション環境	ルール種別003_deleted_2020040910191586427587_deleted_2020040910231586427830	2020年4月8日15:48	{"EVENT_INFO": ["1"]}	201
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月8日15:48	{"EVENT_INFO": ["1"]}	201
✓	ステージング環境	ルール種別003_deleted_2020040910191586427587_deleted_2020040910231586427830	2020年4月8日15:13	{"EVENT_INFO": ["1"]}	202
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日16:41	{"EVENT_INFO": ["1"]}	201
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日16:40	{"EVENT_INFO": ["1"]}	201
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日16:38	{"EVENT_INFO": ["1"]}	201
✓	プロダクション環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日14:40	{"EVENT_INFO": ["1"]}	201
✓	ステージング環境	ルール種別001_deleted_2020040910181586427519	2020年4月6日14:31	{"EVENT_INFO": ["1"]}	202
✓	プロダクション環境	ルール種別F01_deleted_2020040604541586148869_deleted_2020040604551586148954	2020年4月3日15:50	{"EVENT_INFO": ["1"]}	201

■機能説明

- ① ヒットしたルールとそのステータス一覧

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

1.7 画面説明（アクション履歴画面）

クイックスタートでは以下の機能を使用
(DashBoard > ルール > アクション履歴)

The screenshot shows a table titled "アクション履歴" (Action History) with the following data:

状態	操作	ルール種別	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓		ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:41	アクションドライバープロシージャ
✓		ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:40	アクションドライバープロシージャ
✓		ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:38	アクションドライバープロシージャ
✓		ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 14:41	アクションドライバープロシージャ
✓		ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 03日 15:50	アクションドライバープロシージャ

■機能説明

- ① ヒットしたルールとそのステータス一覧

POINT

各機能の詳細は
マニュアルを参照してください。

2. シナリオ説明



2.1 本書のシナリオ

OASEインストール後からアクション履歴が詰まるまでのシナリオ

実行前準備

- 1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- 2 ディシジョンテーブルの作成
- 3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作
- 4 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- 5 テストリクエスト
- 6 プロダクション適用

実行操作

- 7 curlコマンドによるリクエスト送信
- 8 アクション実行結果の確認

POINT

実行前準備としてドライバの設定およびルールを登録する。
実行操作としてOASEにメッセージを投入しルールマッチング及びアクション実行する。

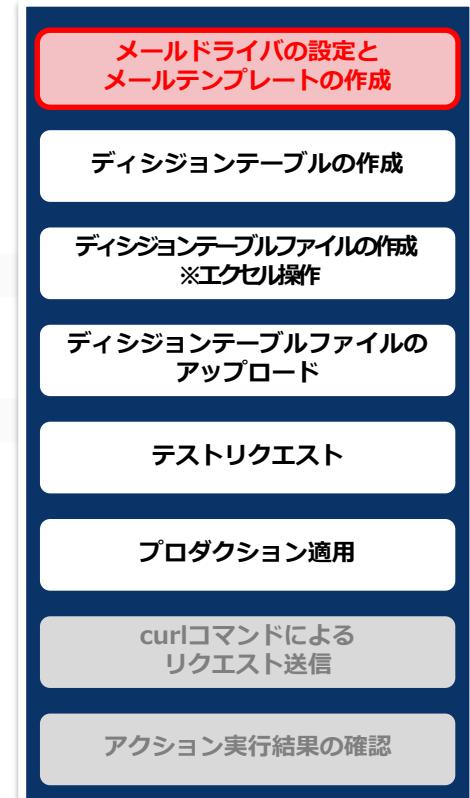
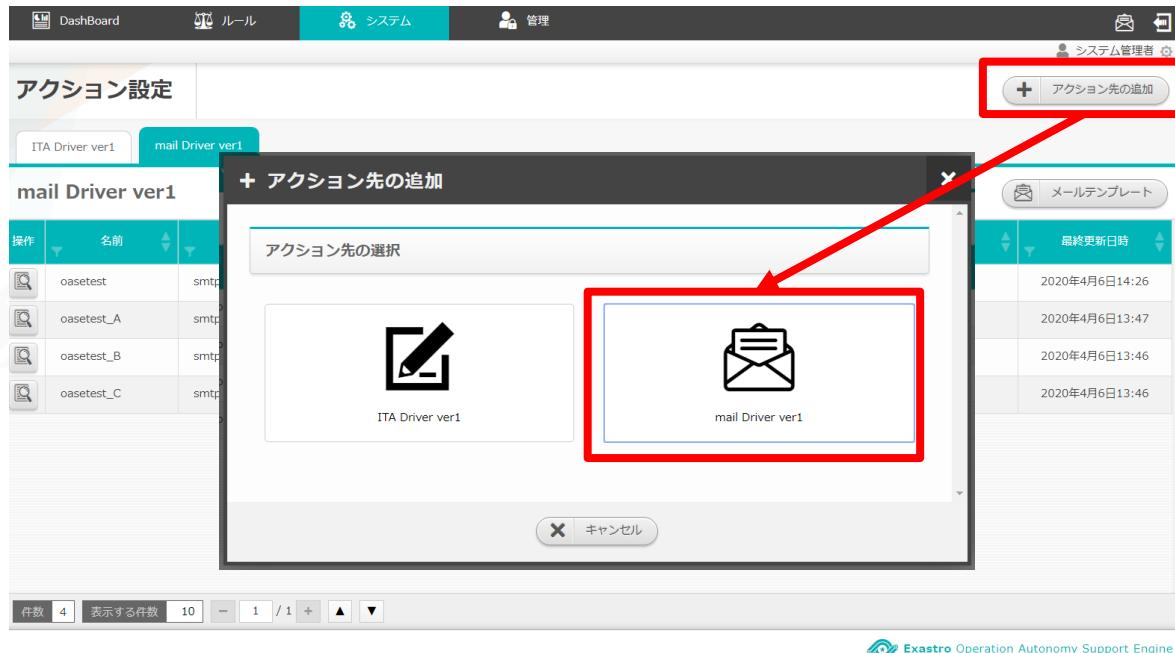
3. 実行前準備



3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(1/3)

アクション先の追加

- 「アクション設定」画面上の「アクション先の追加」ボタンを押下し「アクション先の選択」欄で「mail Driver ver1」を選択する。



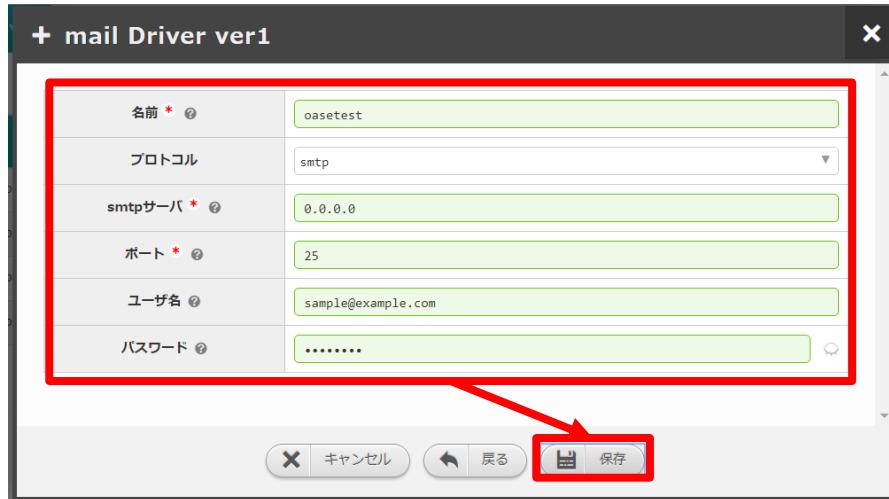
POINT

メールドライバの登録がない場合は[環境構築マニュアル - ドライバインストール編->](#)を参照してください。

3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(2/3)

アクション先の設定

- 必要情報を入力し「保存」ボタンを押下する。



項目	設定値
名前	任意のアクション先名を入力
プロトコル	「smtp」または「smtp_auth」を選択
Smtp サーバ	プライベートIPもしくはグローバルIPを入力 ※前提としてSMTPサーバが用意されていること
ポート	通信に用いるポート番号を入力
ユーザ名	メールの送信元となるユーザ名を入力
パスワード	認証に必要なパスワードを入力

POINT

「項目：名前」は、後述するディシジョンテーブルファイル作成時に「どのアクション先に対してアクション実行するのか」指定するために使用します。

POINT

「項目：ユーザ名」は、メールの送信元として表示されます。

POINT

* のつく項目は入力必須です。

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成
※エクスリ操作

ディシジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(3/3)

メールテンプレートの作成

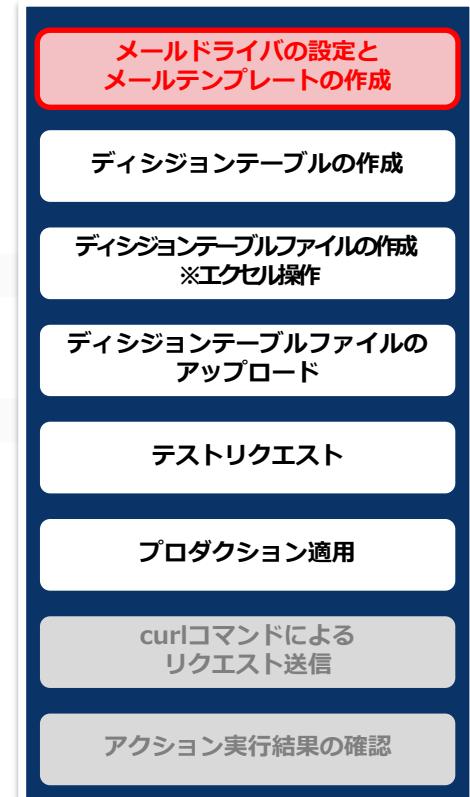
- 「メールテンプレート」ボタンを押下し「新規追加」ボタンを押下する。
- 「メールテンプレート新規追加」画面で必要情報を入力し「保存」ボタンを押下する。

The screenshot shows the 'Actions Settings' screen for 'mail Driver ver1'. A red box highlights the 'メールテンプレート' (Mail Template) button in the top right corner of the main table. Another red box highlights the '+ 新規追加' (New Add) button in the bottom right corner of the same table. A third red box highlights the 'mail Driver ver1' tab at the top left. A fourth red box highlights the '新規追加' (New Add) button in the 'Mail Template New Add' dialog box, which is open in the foreground.

項目	設定値
テンプレート名	任意の名称を入力
宛先	受信可能なメールアドレス
CC	任意、空白可
BCC	任意、空白可
件名	任意の文字列を入力
本文	任意の文字列を入力

POINT

「項目：テンプレート名」は後述する
ディシジョンテーブルファイル
作成時に「どのメールテンプレートを使用する
のか」指定するために使用します。



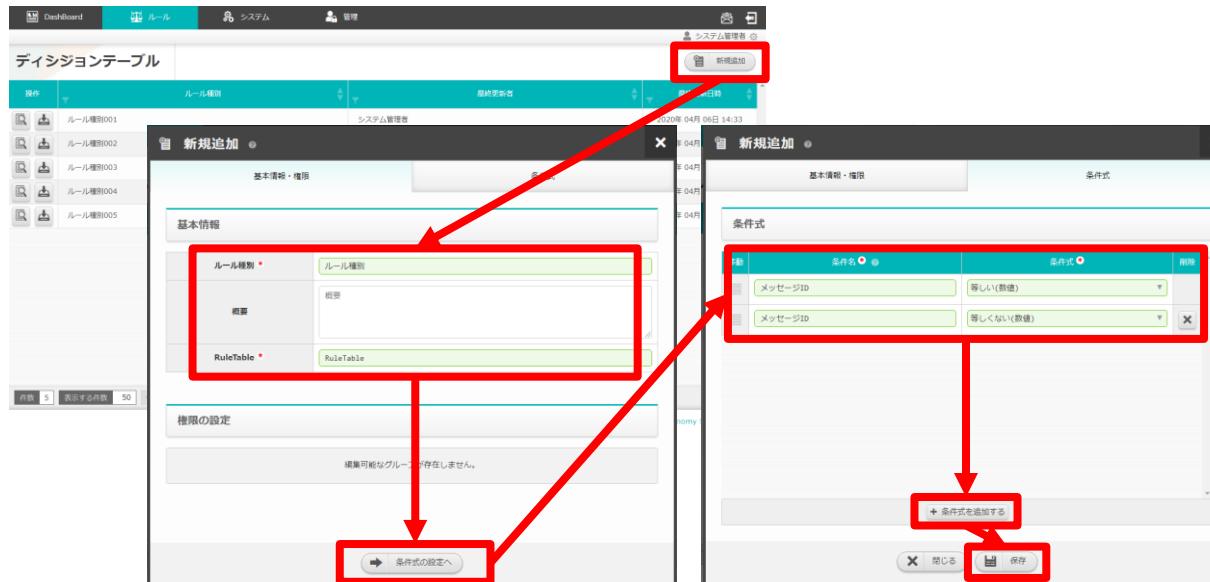
POINT

* のつく項目は
入力必須です。

3.2 ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルの作成

- 「ディシジョンテーブル」画面の「新規追加」ボタンを押下し、「新規追加」画面で「基本情報・権限」タブおよび「条件式」タブの必要情報を入力し「保存」ボタンを押下する。
- 「ルール種別」「RuleTable」「条件名」には任意の文字列を入力する。
- 「条件式」はプルダウンメニューから選択する。



POINT

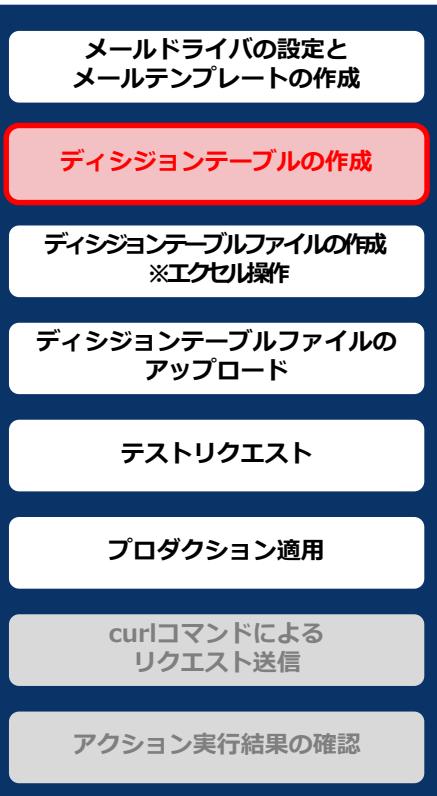
「項目：ルール種別」は「作成したディシジョンテーブル名」として扱われます。
「項目：RuleTable」はエクセルとしてアップロードされる「ディシジョンテーブルファイル名」として扱われます。

POINT

ここで設定した条件式には、後述するディシジョンテーブルファイルで具体値を設定します。

POINT

* のつく項目は
入力必須です。



3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(1/2)

ディシジョンテーブルファイルのダウンロードおよび作成

- 「3.2 ディシジョンテーブルの作成」で作成したディシジョンテーブルの「ダウンロードボタン」を押し下しディシジョンテーブルファイルをダウンロードする。

操作	ルール種別	最終更新者	最終更新日時
	ルール種別001	システム管理者	2020年 04月 06日 14:33
	ルール種別002	システム管理者	2020年 04月 06日 13:56
	ルール種別003	システム管理者	2020年 04月 08日 15:43
	ルール種別004	システム管理者	2020年 04月 06日 13:57
	ルール種別005	システム管理者	2020年 04月 06日 13:58

POINT

ダウンロードされるファイル名は
先述の「項目：RuleTable」で入力した任意の文字列です。
各項目の記述内容については次のページで説明します。

- メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- ディシジョンテーブルの作成
- ディシジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作
- ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによるリクエスト送信
- アクション実行結果の確認

3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(2/2)

ディシジョンテーブルファイルに以下の内容を記述作成

※具体的なディシジョンテーブルファイルの使用例は後述の「A 付録 サンプル1」を参照

| ルール名 | ルールID | ルール名 | ルールID | アクション種別 | アクションパラメータ情報 |
|-------|-------|------|-------|---------|-----------------------------|---------|-----------------------------|---------|-----------------------------|---------|-----------------------------|---------|-----------------------------|---------|-----------------------------|
| コメントA | 10001 | 条件A | 10001 | mail | mailDriver:mail_driver_ver1 |
| コメントB | 10001 | 条件B | 10001 | mail | mailDriver:mail_driver_ver1 |
| コメントC | 10001 | 条件C | 10001 | mail | mailDriver:mail_driver_ver1 |
| コメントD | 10001 | 条件D | 10001 | mail | mailDriver:mail_driver_ver1 |
| コメントE | 10001 | 条件E | 10001 | mail | mailDriver:mail_driver_ver1 |

①コメント部	空白可。説明文など、自由なテキスト記述に使用可能。
②条件部	ルールがマッチングする条件を作成する。
③アクション部	<ul style="list-style-type: none">ルール名ごとにどのようなアクションを実行するか設定可能。アクションを実行してもよいか、事前承認メールを送る設定も可能。「アクション種別」に指定可能なのは「アクション設定」画面で登録したドライバのみ。 (クリックスタートでは「mail Driver ver1」を設定)アクション種別ごとに「アクションパラメータ情報」の書き方が異なるため要注意。
④アクション条件部	空白可。ルールを適用する期間の始まりから終わりまでを設定することが可能。

POINT

値の記述方法はディシジョンテーブルファイルの「記述例」シートを参照ください。

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

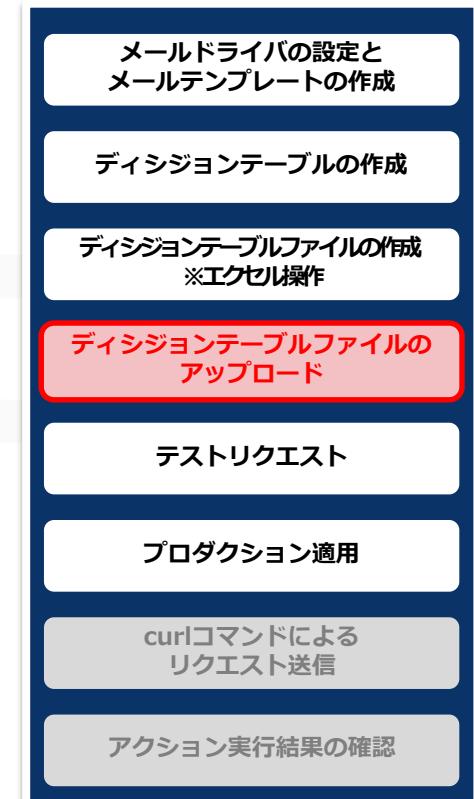
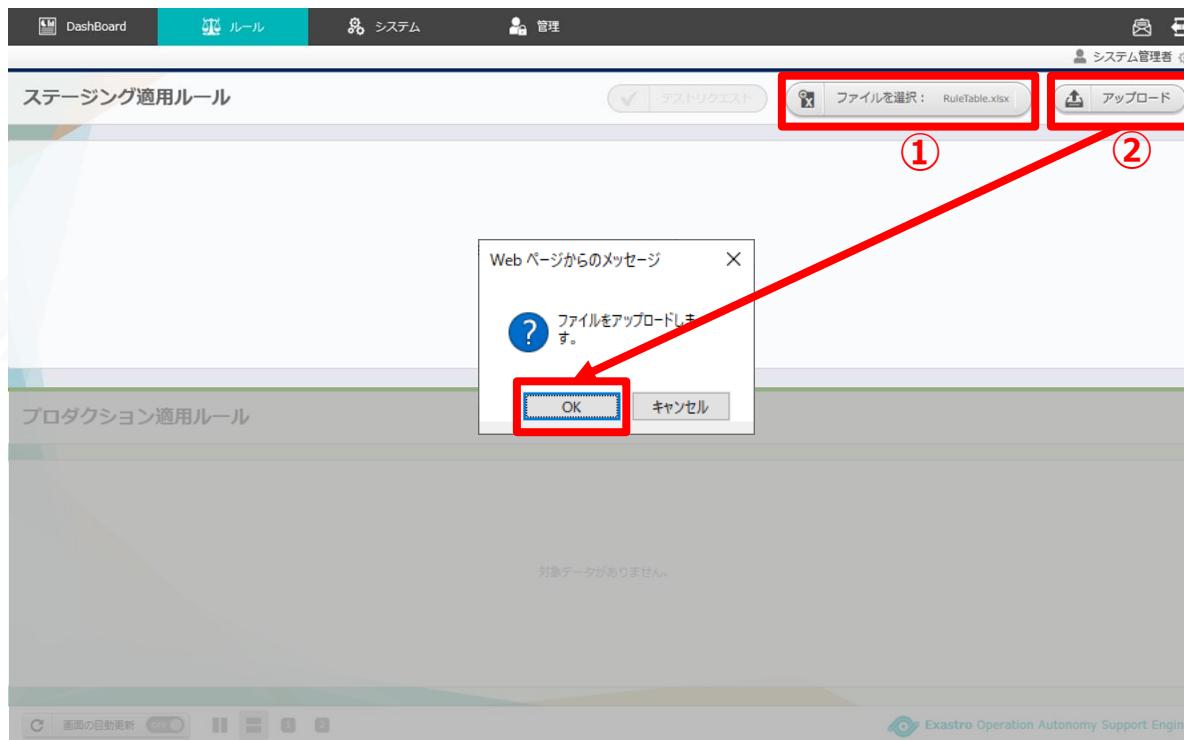
curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

3.4 ディシジョンテーブルファイルのアップロード

【テストリクエストしたいディシジョンテーブルファイルを選ぶ】

- ① 「ルール」画面の「ファイルを選択」ボタンを押下し、作成したディシジョンテーブルファイルを選択する。
- ② 「アップロード」ボタンを押下する。



POINT

ファイル名は<3.2 ディシジョンテーブルの作成>のRuleTable欄で入力した文字列です。

3.5 テストリクエスト(1/2)

■ テストリクエスト対象の選択

- 「作業ステータス」欄が「ステージ適用完了」に遷移後「テストリクエスト」ボタンを押下する。
- 「ルール種別選択」欄からテストしたいルール種別を選択し「テストリクエスト設定へ」ボタンを押下する。

The screenshot shows the 'Rule Management' interface. On the left, a modal window titled 'Test Request' is open, showing a table of rule types: 'ルール種別' (Rule Type), 'ルール種別003' (Rule Type 003), and 'ルール種別001' (Rule Type 001). A red box highlights this table, and a red arrow points from it to the 'Test Request' button at the bottom of the modal. On the right, the main dashboard shows two tables of operation status. The top table, 'Staging Application Rule', has rows for 'ステージング適用完了' (Completed) and 'アップロード異常終了' (Upload Error Ended). The bottom table, 'Production Application Status', has rows for 'プロダクション適用完了' (Completed) and 'プロダクション適用完了' (Completed). A red box highlights the first row of the top table. A red arrow points from the 'Test Request' button in the modal to the 'Test Request' button at the bottom of the dashboard.

POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。

作業ステータスの遷移については

[<利用手順マニュアル -ルール画面編- \(1\)ルール画面\(ステージング\)>](#)を参照ください。

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成
※エクスポート操作

ディシジョンテーブルファイルの
アップロード

Test Request

Production Application

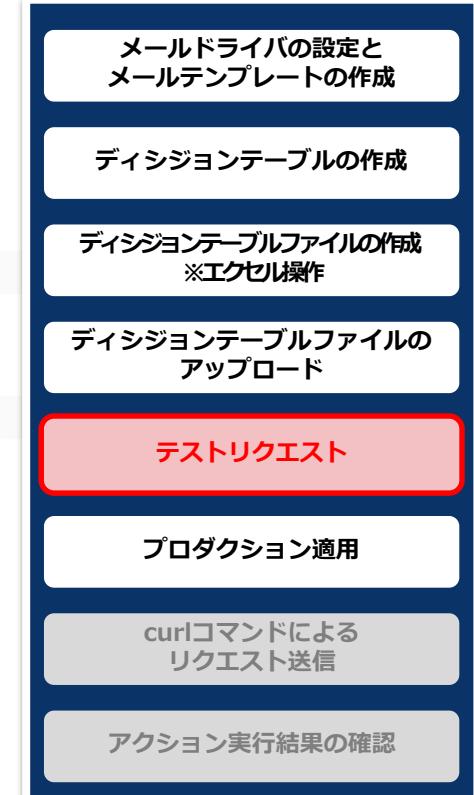
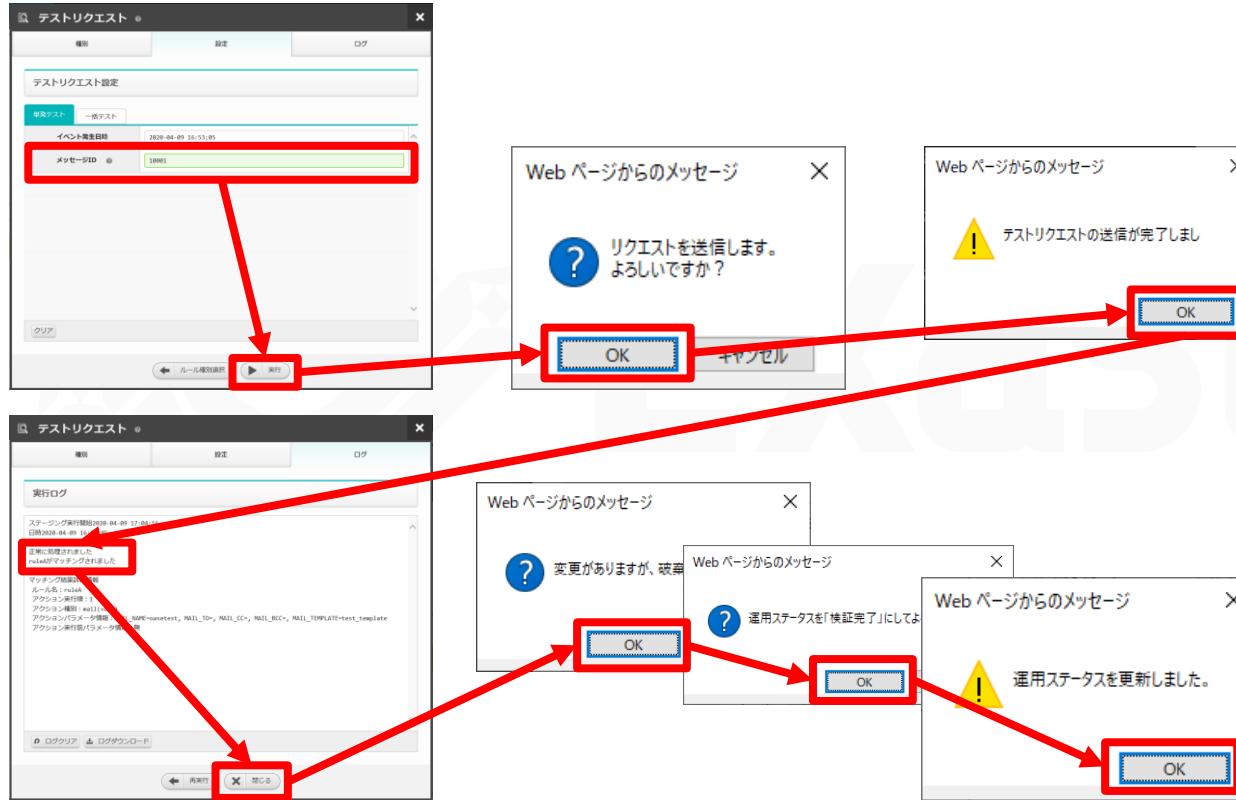
cURLコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

3.5 テストリクエスト(2/2)

■ テストで値を入れて実行し、ルールが有効か確認する

- 「単発テスト」タブの入力欄に、作成したルールに合致する値を入力し「実行」ボタンを押下する。



POINT

<3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成（エクセル）>で作成したルールに合致する場合「実行ログ」に「正常に処理されました」「マッチングされました」と表示されます。ルールがマッチングすると「運用ステータス」が次のステータスに移ります。

3.6 プロダクション適用

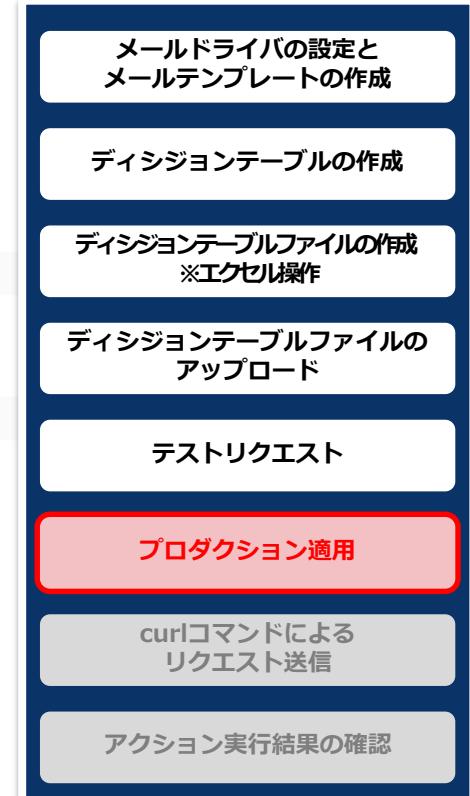
検証完了したルールを本番環境で使用できるようにする

- ルールを本番環境で使用できるようにするために「ステージング適用ルール」から「プロダクション適用ルール」に適用させる。

- ① テストリクエストが正常にルールマッチングされた場合
ステージング環境の運用ステータスは「検証完了」に移る。
- ② 「適用ボタン」を押下しプロダクション環境の運用ステータスが
「プロダクション適用完了」に遷移すると本番環境で使用が可能となる。

The screenshot shows two main panels. The top panel is titled 'ステージング適用ルール' (Staging Application Rule) and the bottom panel is titled 'プロダクション適用ルール' (Production Application Rule). Both panels have a similar layout with columns for '操作' (Operation), 'ルール種別' (Rule Type), 'ルールファイル' (Rule File), '運用ステータス' (Operational Status), '作業ステータス' (Job Status), '最終更新者' (Last Updated By), and '最終更新日時' (Last Updated Date).

- Top Panel (Staging):** Shows a checked checkbox under '操作' and a dropdown menu set to '検証完了' (Validation Completed) under '運用ステータス'. A red box highlights the 'OK' button in a message box titled 'Web ページからのメッセージ' (Message from Web page) which says 'プロダクション適用します。よろしいですか?' (Production application. Is it okay?).
- Bottom Panel (Production):** Shows the same layout but with a dropdown menu set to 'プロダクション適用' (Production Application) under '運用ステータス'. A red box highlights the 'OK' button in a message box titled 'Web ページからのメッセージ' (Message from Web page) which says 'プロダクション適用処理を開始しました' (Production application processing has started).



POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については
[<利用手順マニュアル -ルール画面編- \(2\)ルール画面\(プロダクション\)>](#)を参照ください。

4. 実行操作



4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(1/2)

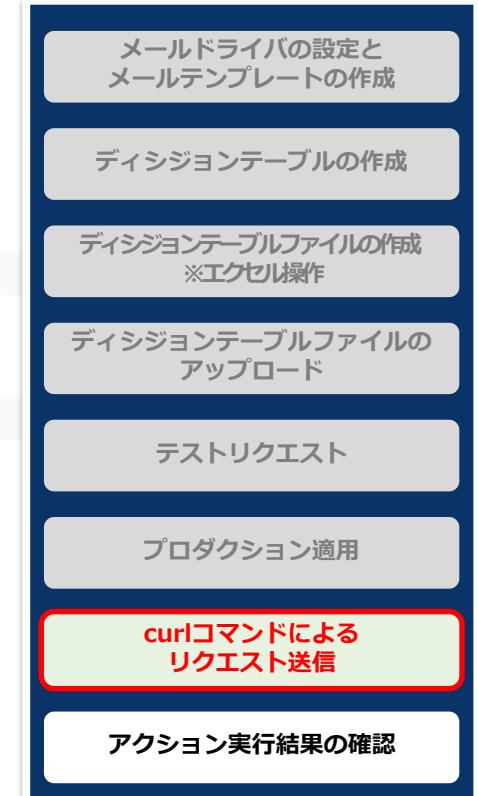
メッセージを投入しプロダクション適用ルールとマッチングさせる

- ターミナルを開き、以下のコマンドをルールに合わせ書き換えたうえで実行する。

※具体的なcurlコマンドの使用例は後述の「A 付録 サンプル1」を参照

```
curl -X POST -k "https://<①ホスト名>/oase_web/event/eventsrequest" -H "accept: application/json" -d "{$" decisiontable":<②ルールテーブル名>,"requesttype":<③リクエスト種別>,"eventdatetime":<④イベント発生日時>,"eventinfo":<⑤イベント情報>}"
```

項目	設定値
①ホスト名	有効なホスト名、IPアドレスを入力
②ルールテーブル名	プロダクション適用済みのルールファイル名（「.xlsx」を抜いたもの）を入力
③リクエスト種別	投入先「1:プロダクション」であるため「1を入力」 例) ,{"requesttype": "1"},
④イベント発生日時	「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」形式で日付を入力 例) ,{"eventdatetime": "2020/01/01 01:01:01"},
⑤イベント情報	リスト形式で指定 例) [{"2}, {"あああ"}]



POINT

HTTPSリクエストの詳細については[<RestAPI機能 利用マニュアル>](#)を参照してください。

4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(2/2)

「リクエスト履歴」画面を確認

- curlコマンドでパラメータを指定しリクエスト送信した履歴が追加される。

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ルール種別	リクエスト受信日時	イベント情報	件数
✓	ステージング環境	ルール種別	2020年4月9日17:04	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	20
✓	プロダクション環境	ルール種別003	2020年4月8日15:48	{"EVENT_INFO": ["1"]}	20
✓	プロダクション環境	ルール種別001	2020年4月8日15:48	{"EVENT_INFO": ["1"]}	20

※ 「リクエスト履歴」画面で表示する項目数は変更可能

表示する項目:

- ルールマッチ状況
- リクエスト種別
- ルール種別
- リクエスト受信日時
- イベント情報
- イベント発生日時
- トレースID

件数: 18 表示する件数: 50 ページ数: 1 / 1 リスト表示 ディテール表示

Exastro Operation Autonomy Support Engine

メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルフルファイルの作成
※エクスリ操作

ディシジョンテーブルフルファイルの
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認

■ アクション実行

- ルールマッチした場合、実行前準備で設定したとおりアクションが実行（メール通知）され、「アクション履歴」画面で結果が確認できる。
- <3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作>のアクション部で設定した通りアクションが実行される
(mail Driver を指定したとおりメールが通知される)。

■ メール通知

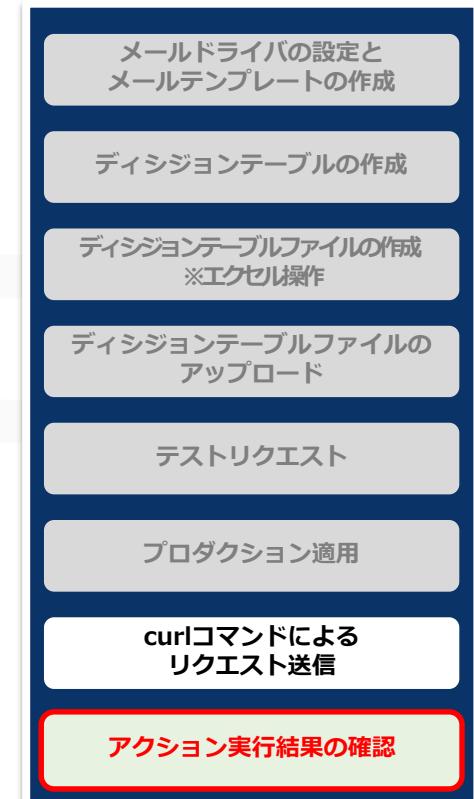
- <3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(3/3)>で設定した宛先・件名・本文のメールが届く。

■ アクション履歴

- ルールマッチングされ実行されたルールが「アクション履歴」画面に表示されていることを確認する。

The screenshot shows the 'Action History' page with a table of executed rules. The columns are: 状態 (Status), 操作 (Operation), ルール種別 (Rule Type), ルール名 (Rule Name), アクション種別 (Action Type), 最終実行日時 (Last Execution Time), and 最終実行者 (Last Executor). The table contains four rows, each with a green checkmark in the status column, indicating successful execution.

状態	操作	ルール種別	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓		ルール種別003	rule01	mail(ver1)	2020年 04月 08日 15:48	アクションドライバープロシージャ
✓		ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 08日 15:48	アクションドライバープロシージャ
✓		ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:41	アクションドライバープロシージャ
✓		ルール種別001	rule001	mail(ver1)	2020年 04月 06日 16:40	アクションドライバープロシージャ



A 付録



サンプル1(1/3)

サンプル値を入力しOASEを実行する

- メッセージID：10001」という情報をOASEが受け取った時
「件名：【OASE】通知テスト」「本文：[リクエスト情報][イベント情報]」という情報のメールが送信されるアクションを実行させたい場合。

【実行前準備】

① 「アクション設定」画面

アクション先となるドライバ
「mail Driver ver1」を用意する

・名前	:	oasetest
(他、必要情報を登録)		

メールドライバ使用時に必要な「メールテンプレート」を作成

・テンプレート名	:	test_template
・件名	:	【OASE】通知テスト
・本文	:	[ACTION_INFO] [EVENT_INFO]
(他、必要情報を登録)		

② 「ディシジョンテーブル」画面

「メッセージID」が合致条件となるルールを作成する

・ルール種別	:	マッチングテスト
・RuleTable	:	test
・条件名	:	メッセージID
・条件式	:	等しい(数値)

POINT

本書内の
[<3.1 メールドライバの設定と
メールテンプレートの作成>](#)
および
[<3.2 ディシジョンテーブルの作成>](#)
で説明した範囲です。

サンプル1(2/3)

③ 「ディシジョンテーブル」ファイル

「メッセージID：10001」がヒットするルールを作成する

・メッセージID（等しい(数値)）	： 10001
・アクション種別	： mail(ver1)
・アクションパラメータ情報	： MAIL_NAME=oasetest,MAIL_TO=,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=test_template
（他、必要情報を登録）	

④ 「ルール（ステージング適用ルール）」画面

作成したディシジョンテーブルファイルを
アップロードする

・ファイルを選択 : test.xlsx

⑤ 「テストリクエスト」画面

アップロードしたディシジョンテーブルファイルに
リクエスト「メッセージID：10001」が来た場合
ルールがマッチングするかテストする

・ルール種別選択	： マッチングテスト
・メッセージID	： 10001

POINT

本書内の [<3.3 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作>](#)
[<3.4 ディシジョンテーブルファイルのアップロード>](#)
[<3.5 テストリクエスト>](#) にて説明した範囲です。

サンプル1(3/3)

【実行操作】

⑥ターミナル操作 (Linuxサーバ向け)

用意したルールに対しcurlコマンドでリクエストを投げる

※赤字箇所はご変更ください。

```
curl -X POST -k "https://<HostName>/oase_web/event/event/eventsrequest" -H "accept: application/json" -d "{\"decisiontable\": \"test\", \"requesttype\": \"1\", \"eventdatetime\": \"2020/01/01 01:01:01\", \"eventinfo\": [\"10001\"]}"
```

⑦メール通知

右記情報の
メールが
届いたことを
確認する

件名：【OASE】通知テスト
本文：

[リクエスト情報]
トレースID :
ルール種別名 :
リクエストユーザ :
リクエストサーバ :

[イベント情報]
イベント発生日時 :
条件名 :

本メールは、『Operation Autonomy Support Engine』より
自動送信しています。

[リクエスト情報]
トレース ID : **██████████**
ルール種別名 : **██████████**
リクエストユーザ : **██████████**
リクエストサーバ : **██████████**

メール通知 イメージ

[イベント情報]
イベント発生日時 : **██████████**
条件名 = **██████████**
██████████

POINT

本書内の<4.1 curlコマンドによるリクエスト送信>および
<4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認>で説明した範囲です。



Exastro